

令和6年度 第3回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年1月12日（金）午後2時から午後3時30分
- 2 開催場所 雄踏小学校 会議室
- 3 出席委員 山田 敏、楠野正人、坂田尚久、中村厚、山内勝巳、村松美智子、
飯尾 晋太郎、内山雅紀、加茂 聡美（学校支援コーディネーター兼務）、
宮崎純恵（学校支援コーディネーター兼務）
- 4 欠席委員
- 5 学校 高杉 晋司（校長）、高木 悦代（教頭）、松田 浩征（主幹教諭）、木根 創（主幹）
前岡光子（校務アシスタント）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課 指導主事）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 前回会議録確認
- (5) 熟議（議長：会長）
○学校評価から読み取れる成果と課題について（主幹教諭）
- (6) 報告
○2学期の取組について（学校支援コーディネーター）
○今後の取組予定について（学校支援コーディネーター）
- (7) 浜松市教育委員会（教育総務課 指導主事）
- (8) 連絡事項
○今後のゆうさくコミュニティ・スクール協議会
【第4回】令和6年 2月14日（水）14：00～15：30

- 9 会議録作成者 校務アシスタント 前岡 光子

10 会議録

司会加茂委員より委員総数10人全員が出席しており、会議が成立している旨報告があった。

- (3) 議長選出 司会加茂委員より、今年度は会長が行う予定であることを伝え、全員異議なく承認した。
- (5) 熟議（議長：会長）

○学校評価から読み取れる成果と課題について（主幹教諭）

主幹教諭より11月に行われたアンケート結果について報告があり、委員より以下の意見が出た。

- ・「進んで発表している」という表現でいいのだろうか。「進んで取り組んでいる」という表現でもいいのでは。タブレット授業では、発言していなくてももしっかり自分の意見を伝えられている児童もいる。（飯尾委員）
- ・タブレットからの意見をくみ取れるように、指導者に幅広い視野が求められる。（山田委員）
- ・交流活動で意見を述べることも立派な意見発表だと思う。発表が得意ではない子にとって、グループ交流は良い活動だと感じた。（楠野委員）
- ・先生の反応が良いと感じた。児童の発言を「そうだね」「そういう考え方もあるね」

- と受け止めているので、より発言しやすくなる。(宮崎委員)
- ・質問してもすぐに当てるのではなく、児童の様子を見て待っている。意見を引き出す工夫をしている。(坂田委員)
 - ・言葉遣いについてメディアの影響を感じる。メディアから吸収した言葉をそのまま使っているように感じる(中村委員)
 - ・あいさつや、時と場合に合った言葉遣いは注意することも必要。大人としての責任だと思う。また、あいさつは言葉だけでなく態度で示せる場合もある。(楠野委員)
 - ・児童に対しての期待値が高いのかもしれない。児童はできていると感じているが、保護者はもっとできるはずと思っているところも。(坂田委員)
 - ・寒い時期、外で遊ぶ子と室内で過ごす子では体力に差ができる。コロナ禍では難しかったが、体育の時間を使って身体を動かすことが体力作りに繋がる。(村松委員)
 - ・小学生のときから将来の夢や目標を持っていることはすごいと感じる。将来の職業選択で視力が関係するものもある。タブレットの学習環境に照度などの配慮が必要ではないか。(内山委員)
 - ・地域の人と活動・学習することの楽しさがもっと伝わるといいと思う。ゆうさく教室・取り出し支援などを勧めても、保護者の認知や理解が少なく、利用に繋がらなくて残念に思うこともある。(加茂委員)
 - ・CS活動をもっと宣伝したり、積極的に発信したりすることも必要。外部からの支援を受け入れやすい環境を整えていければ。(山田委員)
 - ・CS活動が保護者に理解がされていることがわかって嬉しい。児童から慕われているCS支援員の方もたくさんいる。(山内委員)
 - ・防災訓練が1年にどれくらい行われているのか。水に近い地域なのでしっかりと訓練を行ってほしい。(村松委員)

(6) 報告

○2学期の取組について(学校支援コーディネーター)

学校支援コーディネーター兼務宮崎委員より、以下の具体的な報告があった。

- ・ほぼ毎日どこかの学年やクラスに支援の方が入ってくれている。外国籍児童の支援で1年から6年まで対応している。
- ・5,6年の調理実習では30名を超える人が支援してくれた。
- ・2年生の街探険では、38名の民生委員さんが児童の班に付き添って行ってくれた。
- ・6年生の総合的な学習時間に14名の講師が来校。熱意を持って児童に伝えてくれた。
- ・書き初めの練習では、書写の先生が児童にアドバイスをしてくれていた。
- ・4年生以上のクラブ活動にも支援の講師が来てくれている。
- ・図書ボランティアの方が本の修繕を行ってくれている。
- ・読み聞かせボランティアの方が定期的に来校。自主的にミーティングも行ってくれている。
- ・学校外活動でも、登校の見守り・旗振りに、民生委員・自治会長・ねんりんクラブのメンバーも参加してくれている。
- ・ゆうさく教室にはボランティアが5,6名おり、児童を指導してくれている。
- ・花ボランティアの方が、園芸委員と一緒に活動。休校日にも水やりに来てくれている。
- ・地元の方との繋がりや支援がとていいと思う。児童が感謝の気持ちを伝える機会

も大切と感じている。支援に来てくれた講師の方々に児童からの手紙を一冊にまとめて渡しており、とても喜んでもらっている。(宮崎委員)

○今後の取組予定について(学校支援コーディネーター)

資料をもとに、宮崎委員より今後の取り組みについて説明があった。

- ・今後も継続的に支援をしてもらう予定。
- ・2月に予定されている、5年生のSDGsの授業に特別講師として古橋織布と杉山ナッツさんに来てもらう。

このような活動を児童だけでなく、保護者に知ってもらうことでボランティアとして参加してもらえる可能性も広がる。児童と一緒にやる楽しさもあるので、保護者にも地域にもこれらの活動が浸透すればいいと感じている。(宮崎委員)

(8) 連絡事項

教頭より次回会議は令和6年2月14日(水)午後2時から雄踏小学校会議室で開催される旨の報告があった。